



校長室からこんにちは

宇都宮市立清原中学校

〔清原中学校ホームページではカラーでご覧いただけます。〕



来賓玄関のマリーゴールドと
ツマグロヒョウモン

令和4年9月6日

No. 6 文責：東原定雄

2年生が社会体験学習「宮っ子チャレンジウィーク」を実施しました。

2年生は、8月29日（月）から9月2日（金）までの5日間、56か所の体験先の協力を得て、社会体験学習（略称「宮チャレ」）を実施しました。

宮チャレは、地域の多くの人と触れ合う社会体験活動を通して、働くことの尊さを実感させ、他人を思いやる心や社会のためになることを積極的に行う態度を育み、主体的に自己の在り方や生き方を見つめさせることを目的として、宇都宮市立の全ての中学校が実施する教育活動です。

生徒たちは体験先の皆様の指導・助言を受けて、仕事をするの大変さや充実感を味わうとともに、お世話になった方々への感謝の気持ちをもったり、将来の自分の姿を思い描いたりしたのではないのでしょうか。この後、9月末に学級内でそれぞれの体験を発表し、学んだことを交流します。更に、11月29日（火）の2学年保護者会で、代表生徒が今回の体験を紹介する予定です。



豊鉄工建設



ホームセンター山新



(株) 育くんファーム



石窯パン工房 Pan De Park 遊



唐太郎ゆいの杜店



福田屋百貨店インターパーク店



大竹工業株式会社



スーパースポーツゼビオ



校内活動班



清原南小



かましん平松本町店



ゆいの杜ガーデンセンター



清原地区市民センター



道場宿郵便局



カインズ宇都宮テクノ店

全国大会・関東大会で入賞した生徒へのインタビュー

夏休みが終わってから、全国大会・関東大会に出場し入賞した5人の生徒にインタビューしました。他の部活動の皆さんにも参考になる重みのある言葉で、本校生徒に目指してもらいたい「頑張る人」「考える人」「思いやりのある人」の条件を、高いレベルで達成していると思いました。

3年生は、進学後も今の競技を続けたいと考えているそうですので、今後にも大いに期待しています。

関東大会 陸上競技砲丸投げ 第7位 3年 加藤杏奈 さん



加藤さんは、中学校に入学する前からボールを投げたりすることが得意だったので、砲丸投げという種目を選んだのだそうです。

関東大会7位に入賞できてうれしい、最後に結果が出せてよかったと笑顔で話す加藤さんですが、タイヤ押し50mや坂ダッシュなどの辛い練習でも、気持ちに負けず頑張ってきたから力が付いたとのこと。

自分の力で戦い、達成感があるところが陸上競技のよいところで、進学しても投てき競技を続け、国体に出てみたいという目標を教えてくださいました。

後輩に伝えたいこととして、「辛い練習や自分に負けそうなのがあると思いますが、気持ちに負けず、ポジティブに考え、3年間頑張してほしい。」「家族や先生に対して感謝の気持ちをもつこと。」と述べてくれました。

全国弓道大会 個人 第3位

2年 川上聖斗 さん

川上さんは、総体県大会で優勝し、全国大会に出場しました。全国大会では最後の最後に一本差で優勝を逃しましたが、その集中力は素晴らしいものがあります。やはり最後の一本を外して悔しいと語った川上さんは、「弓道は集中力を高めてくれる」と、その良さを教えてくださいました。

これまで、同じところに外さないことなどを意識して練習に励んできました。来年は、「団体で全国大会に行きたい。仲良く楽しく、それでいて強い部活を目指したい。」と抱負を述べてくれました。



関東弓道大会 団体 準優勝

3年 江口颯人さん、北條暖真さん

2年 川上聖斗さん

3年 大竹涼太郎さん（個人第7位）



関東大会では、川上さんを含む4人がエントリーされ準優勝しました。その中でも大竹さんが個人で7位に入賞しています。

3年生の3人は、関東大会で準優勝した気持ちを、「うれしい。もう少し当たってれば優勝できたと思ひ悔しい。」（江口）、「成果が発揮できたのがよかった。」（大竹）「補欠でなく記録を残したかったが、頑張ってきてよかった。」（北條）と語ってくれました。

「弓道は中学入学で皆が同じスタートなので自分の努力で上達する。」「相手がいる競技と違って自分の戦いである。」「的に当てることだけが目的ではなくきれ

いな射形で打つことが弓道のよさ。」と語る3人。それぞれ頑張ってきたことを聞くと、「きれいな射形にすること。」（江口）、「当たらない時期があっても気持ちがくじけないようにすること。」（大竹）、「細かいところを直して射形をきれいにする努力をすること。」（北條）と答えてくれました。

今後のことについては、3人とも進学しても弓道を続け、三段を取りたい、レベルの高い人に勝ちたい、安定して当たるようになりたいなどと力強く抱負を述べてくれました。

最後に、後輩に伝えたいことを聞いたところ、「競うことを考えないで自分らしくできれば実力が発揮される。」（江口）、「調子が悪いときにいいやと思わないであきらめないで。」（大竹）、「相手はどうだとかではなく、自分の目標を達成するよう努力してほしい。」（北條）と教えてくださいました。